

## APS/生産スケジューリングシステム PlanWizard

### Ver15.0 から Ver16.0 までのバージョンアップ詳細履歴

[株式会社ウィザードシステム研究所](#)

弊社ユーザー様のご要望等を踏まえながら、常に最新の生産スケジューリング技術を開発しております。

#### Ver16.0 7 Ver16.0 (H16.10.28)

(追加・改良)

- (1) 「ユーティリティ - ホスト - POP 原材料在庫実績入力...」コマンドの追加  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
- (2) マクロコマンド「READ\_POP\_MATERIAL\_IN\_RESULT」を追加  
書式：READ\_POP\_MATERIAL\_IN\_RESULT  
「ユーティリティ - ホスト - POP 原材料在庫実績取込...」コマンドを実行します。  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
- (3) 原材料在庫リストへ「棚卸情報」フィールド(テーブル型)を追加  
引当て済み数量フィールドの前へ挿入しました。  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
- (4) POP 端末設定マスターへ「原材料在庫棚卸実績入力許可」フィールドを追加  
「編集許可個別管理リソース」の前へ挿入しました。
- (5) POP 端末設定マスターへ「原材料在庫棚卸実績更新処理」フィールドを追加  
「編集許可個別管理リソース」の前へ挿入しました。
- (6) POP 端末設定マスターへ「優原材料在庫棚卸実績優先順位」フィールドを追加  
「編集許可個別管理リソース」の前へ挿入しました。
- (7) 「ユーティリティ - POP - 原材料在庫棚卸実績入力...」コマンドの追加  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
- (8) 「ユーティリティ - POP - 原材料在庫棚卸実績データのテーブル編集...」コマンドの追加  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
- (9) 「ユーティリティ - POP - 原材料在庫棚卸実績ファイル作成...」コマンドの追加  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
- (10) 「ユーティリティ - ホスト - POP 原材料在庫棚卸実績取込...」コマンドの追加  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
- (11) マクロコマンド「READ\_POP\_MATERIAL\_INVENTORY\_RESULT」を追加  
書式：READ\_POP\_MATERIAL\_INVENTORY\_RESULT  
「ユーティリティ - ホスト - POP 原材料在庫棚卸実績取込...」コマンドを実行します。  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
- (12) 「資源計画 - 原材料在庫 - 原材料在庫情報ファイル作成...」コマンドの追加  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
- (13) マクロコマンド「WRITE\_MATERIAL\_STOCK\_INFO」を追加  
書式：WRITE\_MATERIAL\_STOCK\_INFO 引数 1 引数 2 引数 3  
引数 1：在庫計算基準日時  
引数 2：対象原材料在庫(「0」:抽出(表示)されている原材料在庫、「1」:全原材料在庫)

引数 3 : 在庫情報ファイル作成後の Excel での起動確認 (「0」: しない、「1」: する)  
「資源計画 - 原材料在庫 - 原材料在庫情報ファイル作成...」コマンドを実行します。  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。

Ver16.0 6 Ver16.0 7 (H16.10.8)

(追加・改良)

\*\*\* 処理内容変更 \*\*\*

(1) 「生産計画 - ロット - 原材料情報再計算」のダイアログで、「所要量を再計算する」をチェックし、初期設定の「その他 6」タブの「ロットの原材料情報再計算&ロットの実績ステータス」の設定がされている場合の処理を変更しました。  
現状では、ロットに実績がある場合でも、所要量情報が削除されてしまいます。  
新規では、所要量の再計算をしないようにした。ただし、現状と同様に未確定の引当て情報は、この処理の実行により削除されます。

\*\*\*

(2) POP 端末設定マスターのフィールド名称を変更

旧: 入力許可 新: 生産実績入力許可

旧: 更新処理 新: 生産実績更新処理

旧: 取込順位 新: 生産実績取込順位

(3) POP 端末設定マスターへ「原材料在庫在庫実績入力許可」フィールドを追加  
「編集許可個別管理リソース」の前へ挿入しました。

(4) POP 端末設定マスターへ「原材料在庫在庫実績更新処理」フィールドを追加  
「編集許可個別管理リソース」の前へ挿入しました。

(5) POP 端末設定マスターへ「原材料在庫在庫実績取込順位」フィールドを追加  
「編集許可個別管理リソース」の前へ挿入しました。

(6) POP 端末設定マスターへ「原材料在庫在庫実績入力許可」フィールドを追加  
「編集許可個別管理リソース」の前へ挿入しました。

(7) POP 端末設定マスターへ「原材料在庫在庫実績更新処理」フィールドを追加  
「編集許可個別管理リソース」の前へ挿入しました。

(8) POP 端末設定マスターへ「原材料在庫在庫実績取込順位」フィールドを追加  
「編集許可個別管理リソース」の前へ挿入しました。

(9) 「ユーティリティ - POP」ポップアップメニューの中のコマンド名変更

旧: 生産実績入力データのテーブル編集 新: 生産実績データのテーブル編集

旧: 原材料在庫在庫実績入力データのテーブル編集 新: 原材料在庫在庫実績データのテーブル編集

(10) 「ユーティリティ - POP - 原材料在庫在庫実績入力...」コマンドの追加

しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。

(11) 「ユーティリティ - POP - 原材料在庫在庫実績データのテーブル編集...」コマンドの追加

しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。

(12) 「ユーティリティ - POP - 原材料在庫在庫実績ファイル作成...」コマンドの追加

しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。

Ver16.0 5 Ver16.0 6 (H16.10.5)

(追加・改良)

- ( 1 ) メニュー「ユーティリティ - POP - 生産実績入力」の名称変更  
「ユーティリティ - POP - 実績入力」へ変更しました。(元に戻しました。)
- ( 2 ) POP 実績入力ダイアログボックスのインターフェースを変更  
「OK」ボタンを「終了」ボタンへ名称変更  
「キャンセル」ボタンを削除  
「原材料在庫出庫実績入力...」ボタンを追加  
追加ボタンはしばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
- ( 3 ) 「ユーティリティ - POP - 原材料在庫出庫実績入力データのテーブル編集」コマンドの追加  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
- ( 4 ) 「ユーティリティ - POP - 原材料在庫出庫実績ファイル作成...」コマンドの追加  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
- ( 5 ) メニュー「ユーティリティ - ホスト - 実績取込」の名称変更  
「ユーティリティ - ホスト - 生産実績取込」へ変更しました。
- ( 6 ) メニュー「ユーティリティ - ホスト - POP 実績取込」の名称変更  
「ユーティリティ - ホスト - POP 生産実績取込」へ変更しました。
- ( 7 ) 「ユーティリティ - ホスト - POP 原材料在庫出庫実績取込」コマンドの追加  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
- ( 8 ) マクロコマンド「READ\_POP\_MATERIAL\_ASSIGN\_RESULT」を追加  
書式：READ\_POP\_MATERIAL\_ASSIGN\_RESULT  
「ユーティリティ - ホスト - POP 原材料在庫出庫実績取込」コマンドを実行します。  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。

Ver16.0 4 Ver16.0 5 (H16.9.29)

(追加・改良)

- ( 1 ) 重み割付機能を全シリーズで標準装備
- ( 2 ) 「テーブル情報ファイルの作成...」コマンドで出力される LINK フィールドに関するフォーマットを変更した。  
現状：「LINK：フィールド名称：<リンク元テーブル名称>」  
新規：「LINK：フィールド名称：<リンク元テーブル名称>：リンク元フィールド名称」
- ( 3 ) 外部インターフェースカスタマイズ機能で「HeaderOn」で出力されるヘッダーのリンクフィールドの ALT 処理に関するフォーマットを変更した。  
現状：「フィールド名称：リンク元テーブル名称：ALT のフィールド名称 (省略形)」  
新規：「フィールド名称：リンク元テーブル名称：ALT のフィールド名称」
- ( 4 ) 「資源計画 - 原材料在庫 - 原材料在庫引当てリスト - シリーズ固定連動確定ステータスの設定...」コマンドの追加  
シリーズが固定の場合、引当て予定リストのステータスを確定に設定します。
- ( 5 ) マクロコマンド「MAT\_ASSIGN\_STATUS\_DECISION\_IF\_SERIES\_FIX」を追加  
書式：MAT\_ASSIGN\_STATUS\_DECISION\_IF\_SERIES\_FIX  
「シリーズ固定連動確定ステータスの設定...」コマンドを実行します。
- ( 6 ) 「ユーティリティ - ホスト - 原材料在庫引当て情報取込...」コマンドを追加  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
- ( 7 ) 「ユーティリティ - その他 - テンプレート」ポップアップメニューへ以下のコマンドを追加

- 「原材料在庫引当て情報取込ファイルの作成...」  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
- ( 8 ) マクロコマンド「READ\_MATERIAL\_ASSIGN\_INFO」を追加  
書式：READ\_MATERIAL\_ASSIGN\_INFO  
「原材料在庫引当て情報取込...」コマンドを実行します。
- ( 9 ) マクロコマンド「WRITE\_TPL\_MATERIAL\_ASSIGN\_INFO」を追加  
書式：WRITE\_TPL\_MATERIAL\_ASSIGN\_INFO  
「原材料在庫引当て情報取込ファイルの作成...」コマンドを実行します。

Ver16.0 3 Ver16.0 4 (H16.9.24)

(追加・改良)

- ( 1 ) オーダーリストへ「最遅開始日」フィールド(日時)を追加  
出荷日フィールドの前に挿入しました。
- ( 2 ) 「生産計画 - オーダー - 開始遅れオーダー抽出...」コマンドの追加  
オーダーの生産開始日が最遅開始日より遅いものが抽出されます。
- ( 3 ) マクロコマンド「ORDER\_LATE\_START\_SAMPLING」を追加  
書式：ORDER\_LATE\_START\_SAMPLING  
「生産計画 - オーダー - 開始遅れオーダー抽出...」コマンドを実行します。
- ( 4 ) マクロコマンド「FIX\_BY\_EQUIP」を追加  
書式：FIX\_BY\_EQUIP 引数 1 引数 2 引数 3  
「スケジューリング - 固定 / 解除 - 固定・解除...」コマンドの固定処理を実行します。  
引数 1：設備のレコード番号を指定します。  
引数 1 にレコード番号ではなく「 - 9999」を指定した場合は、  
設備マスターで表示されている全設備のレコードに対して処理を実行します。  
引数 2：開始日時を指定します。  
引数 3：終了日時を指定します。
- ( 5 ) マクロコマンド「RELEASE\_BY\_EQUIP」を追加  
書式：RELEASE\_BY\_EQUIP 引数 1 引数 2 引数 3  
「スケジューリング - 固定 / 解除 - 固定・解除...」コマンドの解除処理を実行します。  
引数 1：設備のレコード番号を指定します。  
引数 1 にレコード番号ではなく「 - 9999」を指定した場合は、  
設備マスターで表示されている全設備のレコードに対して処理を実行します。  
引数 2：開始日時を指定します。  
引数 3：終了日時を指定します。
- ( 6 ) 「ユーティリティ - ホスト - コントロールファイル取込・転送...」コマンドの追加  
ダイアログで指定した任意のコントロールファイルで、コントロールファイル  
取込・転送処理を行います。
- ( 7 ) ガントチャートのプロパティの「マーカー」タブへ「オーダー最遅開始日遅れ」を追加  
オーダー最遅開始日より遅い場合にマーカーが表示されます。
- ( 8 ) ガントチャートのプロパティの「マーカー色」タブへ「オーダー開始遅れ」を追加  
「オーダー最遅開始日遅れ」の色の設定を行います。

Ver16.0 2 Ver16.0 3 (H16.9.17)

(追加・改良)

- (1) 製品ガントチャートの印刷、及び、メタファイル作成のダイアログボックスへ  
「作業のない中間体は印刷しない」チェックボックスを追加  
チェックすると印刷指定した場合でも、指定期間に作業がないと印刷されません。
- (2) ガントチャートのプロパティの「マーカー」タブへ「オーダー最早開始日反転」を追加  
オーダー最早開始日よりもシリーズの生産開始日が早い場合にマーカーが表示されます。
- (3) ガントチャートのプロパティの「マーカー」タブへ「シリーズ最早開始日反転」を追加  
シリーズ最早開始日よりもシリーズの生産開始日が早い場合にマーカーが表示されます。
- (4) ガントチャートのプロパティの「マーカー色」タブへ「オーダー最早反転」を追加  
「オーダー最早開始日反転」の色の設定を行います。
- (5) ガントチャートのプロパティの「マーカー色」タブへ「シリーズ最早反転」を追加  
「シリーズ最早開始日反転」の色の設定を行います。

Ver16.0 1 Ver16.0 2 (H16.9.14)

(追加・改良)

- (1) コマンド名の変更  
旧:「資源計画 - 原材料在庫 - 原材料在庫引当てリスト - 確定ステータスの設定...」  
新:「資源計画 - 原材料在庫 - 原材料在庫引当てリスト - ロット実績重動確定ステータスの設定...」  
マクロコマンド名の変更はありません。
- (2) コマンド名の変更  
旧:「資源計画 - 原材料在庫 - 原材料在庫引当てリスト - 引当てステータスの設定...」  
新:「資源計画 - 原材料在庫 - 原材料在庫引当てリスト - ロット実績重動引当てステータスの設定...」  
マクロコマンド名の変更はありません。
- (3) コマンドの追加  
「資源計画 - 原材料在庫 - 原材料在庫引当てリスト - 期間引当て...」  
引当て先ロットの生産開始日が設定日時より以前の原材料在庫引当てリストの  
ステータスを「引当て」にします。
- (4) コマンドの追加  
「資源計画 - 原材料在庫 - 原材料在庫引当てリスト - 未確定原材料在庫引当てリスト削除...」  
ステータスが「未確定」の原材料在庫引当てリストを削除します。
- (5) マクロコマンド「MAT\_ASSIGN\_STATUS\_DUR\_ASSIGN」の追加  
書式: MAT\_ASSIGN\_STATUS\_DUR\_ASSIGN <省略可: 引数1 省略可<引数2>>  
引数1: 日時 引数2: (「0」: 全レコード、「1」: 抽出レコード)  
引数2を省略した場合は、「0」が選択されたものと判断します。  
「... - 原材料在庫引当てリスト - 期間引当て...」コマンドを実行します。
- (6) マクロコマンド「MAT\_ASSIGN\_NOT\_DECISION\_DELETE」の追加  
書式: MAT\_ASSIGN\_NOT\_DECISION\_DELETE  
「... - 未確定原材料在庫引当てリスト削除...」コマンドを実行します。

Ver16.0 Ver16.0 1 (H16.9.7)

(追加・改良)

\*\*\* 重要 \*\*\*\*

- ( 1 ) 初期設定「その他7」タブへ以下を追加  
「ロット名称の命名にオーダー名称を使用する」  
「Yes」に設定するとロット名称は、「オーダー名称 - 工程名称 - ロット No」になります。  
現状は「No」の状態、「中間体名称 - ロット No」です。  
デフォルトを「Yes」に設定しました。

\*\*\*\*

- ( 2 ) スケジューリングカスタマイズ機能の拡張  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
- ( 3 ) 以下のコマンドを追加  
「資源計画 - 原材料在庫 - 原材料在庫引当てリスト - 原材料在庫引当てカスタマイズ...」  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
- ( 4 ) 以下のコマンドを追加  
「生産計画 - オーダー - オーダー・シリーズ・ロット数量再計算...」  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。

Ver15.675 Ver16.0 (H16.9.1)

(追加・改良)

\*\*\* 重要 \*\*\*\*

- ( 1 ) 原材料在庫リストのフィールド名称変更  
旧：「引当て予定数量」 新：「引当て予定数量 Total」  
\*\*\*\*
- ( 2 ) 原材料在庫リストのステータスが「搬入」以上の場合は、上位 原材料の処理で、  
納入予定日、数量等の情報を更新しないようにした。
- ( 3 ) 原材料在庫リストへ「引当て予定数量確定」フィールド（小数）を追加  
引当て予定外数量フィールドの前に挿入しました。  
原材料在庫取込み等のインターフェースに変更はありません。
- ( 4 ) 原材料在庫リストへ「引当て予定数量未確定」フィールド（小数）を追加  
引当て予定外数量フィールドの前に挿入しました。  
原材料在庫取込み等のインターフェースに変更はありません。
- ( 5 ) 原材料在庫引当てリストへ「出庫日」フィールド（日時）を追加  
生産開始日フィールドの前へ挿入しました。
- ( 6 ) 原材料在庫リストの現在庫数量の値は、ステータスが納入よりも小さい場合は、  
ゼロ表示するようにした。

\*\*\* 重要 \*\*\*\*

- ( 7 ) 製品在庫リストのフィールド名称変更  
旧：「引当て予定数量」 新：「引当て予定数量 Total」  
\*\*\*\*
- ( 8 ) 製品在庫リストへ「引当て予定数量確定」フィールド（小数）を追加  
引当て予定外数量フィールドの前に挿入しました。
- ( 9 ) 製品在庫リストへ「引当て予定数量未確定」フィールド（小数）を追加  
引当て予定外数量フィールドの前に挿入しました。

- (10) 製品在庫引当てリストへ「出荷日」フィールド(日時)を追加  
ステータスフィールドの前に挿入しました。
- (11) 生産実績入力ダイアログボックスの改良  
抽出ロットの項目で、抽出レコード数と全レコード数を表示するようにした。

Ver15.667 Ver15.675 (H16.8.26)

(追加・改良)

- (1) メニュー「ユーティリティ - POP - 実績入力」の名称変更  
「ユーティリティ - POP - 生産実績入力」へ変更しました。
- (2) メニュー「ユーティリティ - POP - 実績入力データのテーブル編集」の名称変更  
「ユーティリティ - POP - 生産実績入力データのテーブル編集」へ変更しました。
- (3) メニュー「ユーティリティ - POP - 実績ファイル作成...」の名称変更  
「ユーティリティ - POP - 生産実績ファイル作成...」へ変更しました。
- (4) 生産実績入力ダイアログボックスの改良  
オーダーコード、オーダー名称、LotNo の各エディットボックスの隣に  
ドロップダウンリストを追加(「始」、「含」から選択します。)  
現状は、エディットボックスへ入力したデータから始まるものを抽出していましたが、  
含むものを抽出することも可能となりました。

Ver15.660 Ver15.667 (H16.8.20)

(追加・改良)

- (1) スケジューリング優先順位へ「オーダー最遅終了日(月)」を追加  
オーダー最遅終了日の年月を比較します。
- (2) スケジューリング優先順位へ「オーダー最遅終了日(旬2)」を追加  
オーダー最遅終了日の年月旬2(前半、後半)を比較します。
- (3) スケジューリング優先順位へ「オーダー最遅終了日(旬1)」を追加  
オーダー最遅終了日の年月旬1(上旬、中旬、下旬)を比較します。
- (4) スケジューリング優先順位へ「オーダー最遅終了日(週)」を追加  
オーダー最遅終了日の年月週を比較します。
- (5) スケジューリング優先順位へ「オーダー最遅終了日(1/2週)」を追加  
オーダー最遅終了日の年月週(1/2週単位)を比較します。  
日曜日~水曜日(前半)、木曜日~土曜日(後半)で区別されます。
- (6) スケジューリング優先順位へ「オーダー最遅終了日(日)」を追加  
オーダー最遅終了日の年月日を比較します。
- (7) 工程間リソースで同じ工程間に複数のリソースを取得できるように改良した。

Ver15.655 Ver15.660 (H16.8.3)

(追加・改良)

- (1) COM 機能「IPlanWzd」へ以下のメソッドを追加
  - ・IsPlanScheduled書式: IsPlanScheduled INo  
INo{0(M), 1(S1), 2(S2), 3(S3)}で指定した計画系リストのスケジューリング状態を

返します。全てスケジューリングされている場合は「TRUE」、  
それ以外（バリデーションエラー含む）は「FALSE」を返します。

( 2 ) COM 機能「IPlanWzd」へ以下のメソッドを追加

・IsPlanWizardWndExist

書式：IsPlanWizardWndExist

PlanWizard が起動している場合は「TRUE」、起動していない場合は「FALSE」を返します。

( 3 ) マクロコマンド「TOOL\_EXE」の書式を変更（現状処理の拡張です。）

新書式：TOOL\_EXE 引数 1(0,1,2,…) <省略可：引数 2>

引数 1：[ユーティリティ] - [ツール] に登録されているツール（上から 0,1,2,…)）

引数 2：ツールへの引数

引数 2 が指定されている場合は、[ユーティリティ] - [ツール] で設定している引数を使用せずに引数 2 をツールへ引き渡します。

ヒント：ツールをマクロからの実行した場合、PlanWizard の一般的な処理と同様に  
ウィンドウを表示させず処理のみを実行させることが可能です。

( 4 ) マクロコマンド「TOOL\_FILE\_EXE」の書式を変更（現状処理の拡張です。）

新書式：TOOL\_FILE\_EXE 引数 1 <省略可：引数 2>

引数 1：プログラム名

引数 2：引数 1 で指定したプログラムへ渡す引数

( 5 ) PlanWizard.tlb を添付します。

Ver15.645 Ver15.655 (H16.7.28)

(追加・改良)

( 1 ) COM 機能「IpcTable」へ以下のメソッドを追加

・GetFieldNo

書式：GetFieldNo strFieldName

strFieldName で指定したフィールド(デフォルト名称)のフィールド番号を取得します。

strFieldName で指定したフィールドが存在しない場合は、-1 を返します。

( 2 ) COM 機能「IpcTable」へ以下のメソッドを追加

・GetFieldByName

書式：GetFieldByName strFieldName

strFieldName で指定したフィールド(デフォルト名称)のフィールドを取得します。

strFieldName で指定したフィールドが存在しない場合は、エラーとなります。

( 3 ) COM 機能「IpcRecord」へ以下のメソッドを追加

・GetCellDataByVariant

書式：GetCellDataByVariant l No

lNo (ゼロ基底、フィールド番号 - 1) で指定したセルを Variant で取得します。

lNo で指定したセル(フィールド)が存在しない場合は、エラーとなります。

セル(フィールド)の型が文字・リンクの場合は、「文字(BSTR)」で値を返します。

セル(フィールド)の型が整数・時間の場合は、「整数(long)」で値を返します。

セル(フィールド)の型が小数の場合は、「小数(double)」で値を返します。

セル(フィールド)の型が日時の場合は、「日時(DATE)」で値を返します。



- セル(フィールド)の型がリスト系・テーブル系の場合は、「空」で値を返します。
- (4) COM 機能「IpcRecord」へ以下のメソッドを追加
- ・SetCellDataByVariant  
書式: SetCellDataByVariant lNo vtData  
lNo(ゼロ基底、フィールド番号-1)で指定したセルに vtData (Variant で指定)をセットします。lNo で指定したセル(フィールド)が存在しない場合は、エラーとなります。  
「GetCellDataByVariant」の説明を参照にして vtData を設定して下さい。  
セル(フィールド)の型がリスト系・テーブル系の場合は、vtData の値は設定されません。
- (5) PlanWizard.tlb を添付します。

Ver15.642 Ver15.645 (H16.7.22)

(追加・改良)

- (1) マクロコマンド「ACTIVE\_MDI\_WINDOW\_CLOSE」を追加  
書式: ACTIVE\_MDI\_WINDOW\_CLOSE  
現在アクティブなウィンドウ(テーブル、ガントチャート、グラフ、カレンダー)を閉じます。
- (2) 「生産計画 - ロット - 原材料変更...」コマンドを追加  
ロットの生産開始日等を指定して、指定した原材料を代替原材料へ変更します。
- (3) マクロコマンド「LOT\_MATERIAL\_CHANGE」を追加  
書式: LOT\_MATERIAL\_CHANGE 引数1 引数2 引数3 引数4  
引数1: 変更する原材料の原材料マスターのレコード番号  
引数2: 対象ロット(表示)(「0」: 全ロット、「1」: 表示(抽出)されているロット)  
引数3: 対象ロット(日時)  
(「0」: 全ロット、「1」: ロットの生産開始日が設定日時以降のロット)  
引数4: 設定日時  
「生産計画 - ロット - 原材料変更...」コマンドを実行します。

Ver15.631 Ver15.642 (H16.7.12)

(追加・改良)

- (1) 以下のマクロコマンドを追加  
書式: ACTIVE\_TABLE\_FIELD\_REPLACE  
現在アクティブなテーブルウィンドウで設定されている条件によりフィールド置換を実行します。
- (2) 以下のマクロコマンドを追加  
書式: ACTIVE\_TABLE\_FIELD\_REPLACE\_CON\_ALL\_CLEAR  
現在アクティブなテーブルウィンドウで設定されているフィールド置換条件をクリアします。このマクロコマンドが実行されると、テーブルのフィールド置換条件の置換タイプが全てのフィールドで「置換しない」に設定されます。
- (3) 以下のマクロコマンドを追加  
書式: ACTIVE\_TABLE\_FIELD\_REPLACE\_CON\_ALL\_CLEAR\_WITH\_CHAR  
現在アクティブなテーブルウィンドウで設定されているフィールド置換条件を全て

クリアします。このマクロコマンドが実行されると、テーブルのフィールド置換条件の置換タイプが全てのフィールドで「置換しない」に設定され、且つ、置換条件の置換文字もクリアされます。

注意：テーブルの置換文字と抽出文字は共有されています。

(4) 以下のマクロコマンドを追加

書式：ACTIVE\_TABLE\_FIELD\_REPLACE\_CON\_SET 引数1 引数2 引数3

引数1：置換条件を設定するフィールド

型情報付きフィールド名称でフィールドを指定して下さい。

引数2：置換条件の置換文字

引数3：置換条件の置換タイプ（「0」：「置換しない」、 「1」：「置換する」）

現在アクティブなテーブルウィンドウのフィールド置換条件を設定します。

使用例：ACTIVE\_TABLE\_FIELD\_REPLACE\_CON\_SET STRING("備考1") XX 1

使用例は、オーダーリスト等の備考1へ「XX」を設定するためのものです。

Ver15.520 Ver15.631 (H16.7.6)

(追加・改良)

(1) 初期設定「プロパティ」タブへ以下を追加

「MRP 原材料後、プロパティコピー(原材料名称 原材料名称×LotNo)を実行する」

「Yes」に設定すると、「MRP リスト 原材料在庫リスト」コマンド実行後、

「プロパティコピー(原材料名称 原材料名称×LotNo)」を実行します。

(2) 「ユーティリティ - その他 - カスタマイズ」ポップアップメニューの追加

(3) 以下のコマンドを追加

「ユーティリティ - その他 - カスタマイズ - ロット No カスタマイズ定義ファイル編集」

ロット No カスタマイズ定義ファイル編集ツール (Excel) が起動します。

使用するには、ロット No カスタマイズ機能オプションが必要です。

(4) 中間体マスターへ「ロット No(C)付番グループ」フィールドを追加

しばらく設定しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。

(5) 中間体グループマスターへ「ロット No(C)初期値」フィールドを追加

しばらく設定しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。

(6) 中間体グループマスターへ「ロット No(C)付番ルール」フィールドを追加

しばらく設定しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。

(7) 初期設定「その他7」タブを追加

(8) 初期設定「その他7」タブへ以下を追加

「コントロールファイルの編集に専用ルールを使用する」

しばらく「No」の状態にして下さい。

Ver15.500 Ver15.520 (H16.6.30)

(追加・改良)

(1) 製品マスターへ以下の「展開フラグ」フィールド（選択）を追加

「優先順位 M」フィールドの前へ挿入しました。

しばらく設定しないで下さい。後日、資料をお送り致します。

(2) 製品マスターへ以下の「逆展開フラグ」フィールド（選択）を追加

- 「優先順位 M」フィールドの前へ挿入しました。  
しばらく設定しないで下さい。後日、資料をお送り致します。
- ( 3 ) 原材料マスターの「逆展開フラグ」フィールド ( 選択 ) の選択肢変更  
半製品の場合、現在の設定は、一度、リセット ( クリア ) されます。  
半製品に関しては、製品マスターの逆展開フラグフィールドの方で設定を行うように変更しました。  
しばらく設定しないで下さい。後日、資料をお送り致します。
- ( 4 ) 製品マスターへ以下の「カスタマイズ」フィールド ( 文字 ) を追加  
「表示グループ」フィールドの前へ挿入しました。  
しばらく設定しないで下さい。後日、資料をお送り致します。
- ( 5 ) 展開リスト、逆展開リストの「種別」へ「R」、「PM」を追加  
「R」は受注情報、「PM」は製品在庫。
- ( 6 ) 逆展開リストのフィールドのデフォルト名称を変更  
「引当て先生産数量」 「引当て先換算数量」

#### Ver15.469 Ver15.500 ( H16.6.18 )

( 追加・改良 )

- ( 1 ) 半製品・製品間工程間リソースの最適化
- ( 2 ) セット製品機能の拡張  
後日詳細資料をお送り致します。
- ( 3 ) マクロコマンド「M\_PRODUCT\_TIMES\_LIMIT\_OPEN」を追加  
書式: M\_PRODUCT\_TIMES\_LIMIT\_OPEN <省略可: 引数1 引数2 引数3 引数4>  
引数1: ウィンドウ X 座標、引数2: ウィンドウ Y 座標、引数3: 幅、引数4: 高さ  
「マスター - 生産製品数制限マスター編集」コマンドを実行します。
- ( 4 ) COM 機能「IPlanWzd」へ以下のメソッドを追加  
・GetProductTimesLimitTable  
生産製品数制限マスターを取得します。
- ( 5 ) PlanWizard.tlb を添付します。

#### Ver15.447 Ver15.469 ( H16.6.14 )

( 追加・改良 )

- ( 1 ) 半製品・製品間の工程間リソースの一連設定の処理の簡素化
- ( 2 ) 工程間リソースの一連設定の処理の簡素化
- ( 3 ) スケジューリング画面の「優先順位項目」へ「FW&最早開始日」を追加  
まず、FW のオーダーが優先で割りつきます。  
さらに FW で割付くオーダーの最早開始日の昇順・降順を判断します。
- ( 4 ) スケジューリング画面の「優先順位項目」へ「BW&最早開始日」を追加  
まず、BW のオーダーが優先で割りつきます。  
さらに BW で割付くオーダーの最早開始日の昇順・降順を判断します。
- ( 5 ) 製品マスターのバリデーション強化
- ( 6 ) 原材料マスターのバリデーション強化 ( レベル 2 )

Ver15.430 Ver15.447 (H16.6.7)

(追加・改良)

- (1) ガントチャートウィンドウの編集メニューで「ヒストグラム非表示」の階層を変更した。  
現状でヒストグラム抽出ポップアップ階層レベルを、新規は編集直下とした。
- (2) 各種ガントチャートの編集メニューへ以下のコマンドを追加  
「未割付ヒストグラム非表示」 未割付ヒストグラムを非表示にします。
- (3) 各種ガントチャートの編集メニュー体系をガントチャートと同様タイプに変更
- (4) 「生産計画 - オーダー - 受注情報表示関連オーダー抽出...」コマンドを追加  
受注情報リストで表示されている受注情報へ引当てを行っているオーダーを抽出します。  
ヒント：予め、納期遅れ受注情報抽出等の実行後に本コマンドを実行して下さい。
- (5) 逆展開リストのフィールドのデフォルト名称を変更  
元：「引当て先数量」 新：「引当て先生産数量」
- (6) 展開リスト、逆展開リストの「種別」フィールドの選択肢へ「HM」を追加  
「HM」は、半製品だが関連するオーダー情報が存在しない場合を表します。
- (7) マクロコマンド「ORDER\_RECEIVE\_PRINT\_SAMPLING」を追加  
書式：ORDER\_RECEIVE\_PRINT\_SAMPLING  
「生産計画 - オーダー - 受注情報表示関連オーダー抽出...」を実行します。

Ver15.382 Ver15.430 (H16.6.1)

(追加・改良)

- (1) クリティカル&同時生産のまとめ処理の最適化
- (2) ガントチャート等のプロパティの「カレンダー」タブへ以下のエディットボックスを追加  
「オープン時左端日付」: CDate 等を使用して、オープン時の左端日付を変動設定ができます。  
指定しない場合は、保存時の左端日付（絶対日付）でオープンされます。
- (3) ガントチャート特殊文字へ以下を追加  
%EAC 設備の地域コードを表示します。  
%EAN 設備の地域名称を表示します。  
%EAM1~5 設備の地域の備考1~5を表示します。  
%CAC 顧客の地域コードを表示します。  
%CAN 顧客の地域名称を表示します。  
%CAM1~5 顧客の地域の備考1~5を表示します。
- (4) 「ファイル - テーブル情報の確認...」コマンドの追加  
テーブル情報を Excel で確認します。  
ただし、実行には、<PlanWizard インストールフォルダ>の中の Excel フォルダに  
「\_TextOpen.xls」ファイルが必要です。(後日、送付します。)
- (5) マクロコマンド「WRITE\_ACTIVE\_TABLE\_AND\_OPEN」を追加  
書式：WRITE\_ACTIVE\_TABLE\_AND\_OPEN  
「ファイル - テーブル情報の確認...」を実行します。

Ver15.366 Ver15.382 (H16.5.26)

(追加・改良)

- ( 1 ) ガントチャートの特殊文字でリソース名称と数量の同時表示の区切り文字の変更。  
現状は、「スペース」のみ。新規では、名称と数量の間は「,」、データ間は「;」。
- ( 2 ) ガントチャート特殊文字へ以下を追加
  - %SSFZ シリーズの前切替リソース ( 名称 + 数量 ) のデータ毎の改行表示
  - %SSPZ シリーズの生産リソース ( 名称 + 数量 ) のデータ毎の改行表示
  - %SSBZ シリーズの後切替リソース ( 名称 + 数量 ) のデータ毎の改行表示
  - %LSFZ ロットの前段取りリソース ( 名称 + 数量 ) のデータ毎の改行表示
  - %LSPZ ロットの生産リソース ( 名称 + 数量 ) のデータ毎の改行表示
  - %LSBZ ロットの後段取りリソース ( 名称 + 数量 ) のデータ毎の改行表示
- ( 3 ) ガントチャートの特殊文字で個別管理リソース名称の区切り文字の変更。  
現状は、「スペース」のみ。新規では、「,」。
- ( 4 ) ガントチャート特殊文字へ以下を追加
  - %SAFZ シリーズの前切替個別管理リソースのリソース毎の改行表示
  - %SABZ シリーズの後切替個別管理リソースのリソース毎の改行表示
  - %LAFZ ロットの前段取り個別管理リソースのリソース毎の改行表示
  - %LAPZ ロットの生産個別管理リソースのリソース毎の改行表示
  - %LABZ ロットの後段取り個別管理リソースのリソース毎の改行表示

Ver15.147 Ver15.366 ( H16.5.20 )

( 追加・改良 )

\*\*\* 重要 \*\*\*\*\*

- ( 1 ) オーダーリストへ「スケジューリングカスタマイズ」フィールド ( 文字型 ) を追加  
「固定」フィールドの前へ挿入しました。  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送りいたします。  
「オーダー取込み」のインターフェースファイルへの影響はありません。
  - ( 2 ) シリーズリストへ「スケジューリングカスタマイズ」フィールド ( 文字型 ) を追加  
「固定」フィールドの前へ挿入しました。  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送りいたします。
- \*\*\*\*\*
- ( 3 ) コントロールファイル転送のヘッダー出力の変更  
現状は「フィールド名称」、新規では「デフォルト詳細フィールド名称」。
  - ( 4 ) コントロールファイル転送のヘッダー出力で、リンクフィールドのリンク元の別フィールドを出力する設定にした場合のフォーマットを変更しました。  
現状は、「リンク元テーブル名称:別フィールド名称」で出力されます。( Ver15.023 )  
新規は、「デフォルト詳細フィールド名称:->リンク元テーブル名称:別フィールド名称」
  - ( 5 ) 「ユーティリティ - その他 - テーブル - フォルダ再構築...」コマンドの追加  
PlanWizard インストールフォルダのフォルダ構成を再構築します。
  - ( 6 ) マクロコマンド「RESTRUCTURE\_FOLDER」を追加  
書式: RESTRUCTURE\_FOLDER  
「ユーティリティ - その他 - テーブル - フォルダ再構築...」コマンドを実行します。
  - ( 7 ) ガントチャート編集メニューの「編集 - オーダー分割」コマンドの実行後、  
デフォルト動作で固定処理を実施していたが、固定処理を実施しないように変更した。

- ( 8 ) COM 機能「 IPlanWzd 」へ以下のメソッドを追加
- ・ GetPersonalResourceJobAssignTable  
書式 : GetPersonalResourceJobAssignTable INo  
INo { 0(M) , 1(S1) , 2(S2) , 3(S3) } で指定した個別管理リソースジョブ割当リストを取得します。
- ( 9 ) PlanWizard.tlb を添付します。
- ( 10 ) 生産製品数制限マスターの「対象」フィールドの選択肢へ以下を追加
- 「オーダーコード」 「オーダーコード」を対象とします。
  - 「シリーズリスト：備考1」 「シリーズリスト備考1」を対象とします。
  - 「シリーズリスト：備考2」 「シリーズリスト備考2」を対象とします。
  - 「シリーズリスト：備考3」 「シリーズリスト備考3」を対象とします。
  - 「シリーズリスト：備考4」 「シリーズリスト備考4」を対象とします。
  - 「シリーズリスト：備考5」 「シリーズリスト備考5」を対象とします。
- ( 11 ) 以下のコマンドを追加
- 「ユーティリティ - ホスト - コントロールファイル転送 出力データ確認...」  
コントロールファイル転送を行い、出力データを Excel で確認します。  
ただし、実行には、<PlanWizard インストールフォルダ>の中の Excel フォルダに  
「\_TextOpen.xls」ファイルが必要です。(後日、送付します。)
- ( 12 ) マクロコマンド「WRITE\_CONTROL\_AND\_OPEN」を追加
- 書式 : WRITE\_CONTROL\_AND\_OPEN  
「ユーティリティ - ホスト - コントロールファイル転送 出力データ確認...」を実行します。
- ( 13 ) マクロコマンド「WRITE\_CONTROL\_FILE\_AND\_OPEN」を追加
- 書式 : WRITE\_CONTROL\_FILE\_AND\_OPEN 引数 1  
引数 1 : ファイル名  
引数 1 で指定したファイルを利用して「ユーティリティ - ホスト - コントロールファイル転送 出力データ確認...」コマンドを実行します。  
引数 1 でファイル名のみで指定した場合(ディレクトリなし)は、Host フォルダの中のファイルを検索します。

Ver15.040 Ver15.147 (H16.5.12)

(追加・改良)

- ( 1 ) 「マスター - セット製品マスター編集」コマンドの追加  
しばらく、使用しないで下さい。  
使用するには、APS PlanWizard Std 以上のライセンスが必要です。
- ( 2 ) マクロコマンド「M\_SET\_PRODUCT\_OPEN」を追加  
書式 : M\_SET\_PRODUCT\_OPEN <省略可 : 引数 1 引数 2 引数 3 引数 4 >  
引数 1 : ウィンドウ X 座標、引数 2 : ウィンドウ Y 座標、引数 3 : 幅、引数 4 : 高さ  
「マスター - セット製品マスター編集」コマンドを実行します。
- ( 3 ) COM 機能「 IPlanWzd 」へ以下のメソッドを追加
- ・ GetSetProductTable  
セット製品マスターを取得します。
- ( 4 ) PlanWizard.tlb を添付します。

Ver15.030 Ver15.040 (H16.5.6)

(追加・改良)

- (1) COM 機能「IpcRecord」へメソッド「GetMemo」を追加

書式：GetMemo INo

INo：long 型、備考の No を指定します。(0：備考 1、～、4：備考 5)

レコードの備考の値を返します。

備考があるレコードに対して実行した場合は、備考の中身を返します。

- (2) COM 機能「IpcRecord」へメソッド「SetMemo」を追加

書式：SetMemo INo strData

INo：long 型、備考の No を指定します。(0：備考 1、～、4：備考 5)

strData：BSTR 型、備考へ設定するデータを指定します。

レコードの備考へデータを設定します。

備考があるレコードに対して実行した場合のみ有効です。

- (3) 原材料在庫リストへ「地域」フィールド(リンク型)を追加

「原材料名称×LotNo」フィールドの前へ挿入されました。

後日詳細資料をお送りいたします。しばらく使用しないで下さい。

- (4) 上位データ連動リストへ「地域」フィールド(リンク型)を追加

「納入予定数量」フィールドの前へ挿入されました。

後日詳細資料をお送りいたします。しばらく使用しないで下さい。

\*\*\* 重要 \*\*\*\*\*

- (5) 原材料在庫取込のインターフェースファイルのフォーマットを変更

新たに地域フィールドが入ります。

「納入予定数量」フィールドの前へ挿入されました。

\*\*\*\*\*

- (6) 製品在庫リストへ「地域」フィールド(リンク型)を追加

「製品名称×LotNo」フィールドの前へ挿入されました。

後日詳細資料をお送りいたします。しばらく使用しないで下さい。

- (7) 顧客マスターへ「地域」フィールド(リンク型)を追加

「連絡先部署」フィールドの前へ挿入されました。

後日詳細資料をお送りいたします。しばらく使用しないで下さい。

- (8) PlanWizard.tlb を添付します。

Ver15.023 Ver15.030 (H16.4.27)

(追加・改良)

- (1) 原材料マスターのバリデーション強化(レベル2)

- (2) マクロコマンド「Update\_All\_Table\_Wnd」を追加

書式：Update\_All\_Table\_Wnd

全てのテーブルウィンドウを再表示します。

- (3) マクロコマンド「Update\_All\_Plan\_Wnd」を追加

書式：Update\_All\_Plan\_Wnd

現在選択しているシミュレーションに関連する全てのウィンドウ(ガントチャート、

カレンダー、テーブル等)の再表示を行います。

- (4) COM 機能「IpcRecord」へメソッド「UpdateResult」を追加

書式：UpdateResult timeStart timeFinish fNum lStatus

timeStart：DATE 型、ロットの実績開始日(日時)を指定します。

timeFinish：DATE 型、ロットの実績終了日(日時)を指定します。

fNum：double 型、ロットの実績数量を指定します。

lStatus：long 型、ロットの実績ステータス(0~3)を指定します。

(0：未確定、1：確定、2：着手、3：完了)

ロットへ実績を入力します。

ロットリストのレコードに関して操作した場合のみ有効となります。

未確定を設定する場合でも、timeStart、timeFinish には、適当な日時データを設定して実行して下さい。

メソッドの前後で PrevEditRecord、AfterEditRecord 等の呼出しは不要ですが、一連の処理を実行後、「IPlanWzd」の「AfterUpdateResult」を呼び出す必要があります。

注意：使用する場合は、付録「外部インターフェース」の「実績取込」の「実績取込みにについての補足」の内容に留意して下さい。

- (5) COM 機能「IPlanWzd」へメソッド「AfterUpdateResult」を追加

書式：AfterUpdateResult lNo

lNo：long 型、シミュレーション No (0：「M」、1：「S1」、2：「S2」、3：「S3」)

一連の「UpdateResult」処理を実行した後に必ず実行して下さい。

各レコード「UpdateResult」処理後、毎回行う必要はありません。一連の一番最後に実行して下さい。

- (6) COM 機能「IpcRecord」へメソッド「SetLotNoC」を追加

書式：SetLotNoC：BSTR 型、新しいロット No(C) を指定します。

ロットのロット No(C)を設定します。ロットが半製品の場合は、関連する原材料在庫リストの LotNo も更新します。また、ロットが製品の場合は、関連する製品在庫リストの LotNo も更新します。

ロットリストのレコードに関して操作した場合のみ有効となります。

注意：指定したロット No(C)が既に同一製品で存在する場合は、変更されません。

また、各工程間のロット比率が全て 1 でなければ実行されません。

- (7) PlanWizard.tlb を添付します。

Ver15.012 Ver15.023 (H16.4.21)

(追加・改良)

- (1) テーブルの検索・抽出で、テーブルフィールドに関する検索を実施することとした。

現状は、テーブルフィールドに関しては、条件を入力しても完全に無視していたが、テーブルの中の文字系情報(文字型、リンク型)について検索を実施するように改良した。

ヒント：中間体マスターの生産設備情報に「設備 A」が登録されている中間体等のレコード検索が可能となります。

- (2) テーブルの検索・抽出で、数字・日時・時間型のフィールドの検索において

A 以上、且つ、B 以下等の検索が可能となった。



- 検索方法は、検索文字へ「A | B」と記入して、検索演算子を「」を選択します。検索演算子に「」を選択した場合は、Aより小さいか、Bより大きいものが検索されます。検索文字の設定では、必ずAの方を小さい値にしてください。
- (3) テーブルの検索・抽出で、日時フィールドの検索文字に「CDate」等の特殊文字へ対応できるようになった。
- (4) コントロールファイル転送のヘッダー出力で、リンクフィールドのリンク元の別フィールドを出力する設定にした場合のフォーマットを変更しました。現状は、「別フィールド名称」のみ出力。新規では、「リンク元テーブル名称：別フィールド名称」で出力されます。ただし、リンク元テーブルが計画系の場合は、シミュレーション No を外したものが出力されます。
- (5) 以下のコマンドを追加  
「ユーティリティ - その他 - テーブル - テーブルフィールド情報ファイルの作成...」  
テーブルのフィールド情報をファイルに作成します。  
出力ファイル名：<PlanWizard フォルダ>¥host¥PlanWizard\_Table\_Field\_Info.txt  
PlanWizard の全テーブルのフィールド定義情報を作成します。  
使用するには、外部インターフェースカスタマイズ機能が必要です。
- (6) マクロコマンド「WRITE\_TABLE\_FIELD\_INFO」を追加  
書式：WRITE\_TABLE\_FIELD\_INFO  
「ユーティリティ - その他 - テーブル - テーブルフィールド情報ファイルの作成...」  
コマンドを実行します。
- (7) 「在庫保存不可原材料在庫の引当て先オーダーの作成」コマンド時に自動生成されるオーダーの名称を変更しました。  
現状は、「原材料名称 + LotNo + 日付 + 時間 (時分秒)」を入れたいが、  
「原材料名称 + LotNo + 通し番号」に変更した。
- (8) 「実績取込ベースファイルの作成...」コマンドのポップアップメニュー内で最下行へ移動しました。

Ver15.0 Ver15.012 (H16.4.13)

(追加・改良)

- (1) 「生産計画 - オーダー - シリーズ・ロット数量再計算...」コマンドの追加  
指定したオーダーの生産数量現在から、シリーズとロットの数量を再計算します。  
事前にオーダーリストの生産数量現在を変更してから実行して下さい。
- (2) マクロコマンド「ORDER\_SERIES\_AND\_LOT\_NUM\_RECAL」を追加  
書式：ORDER\_SERIES\_AND\_LOT\_NUM\_RECAL 引数1 (レコード番号)  
引数1で「-9999」を指定した場合は、オーダーリストで抽出表示されているオーダーが処理の対象となります。  
「生産計画 - オーダー - シリーズ・ロット数量再計算...」コマンドを実行します。
- (3) ガントチャートの編集メニューへ以下のコマンドを追加  
「編集 - オーダー数量変更 + シリーズ・ロット数量再計算...」  
指定したオーダーの数量を変更して、シリーズとロットの数量を再計算します。

この他のバージョンアップ履歴に関しては、以下のリンクをご覧ください。

[APS/生産スケジューリングシステムPlanWizard](#)

[過去のバージョンアップ詳細履歴とリリース情報](#)

カタログ・製品紹介CDのお申込みは [こちら](#) から

[株式会社ウィザードシステム研究所](#)